

Press Release



2019年8月22日

コベストロジャパン株式会社

コベストロ、サステナビリティ活動の一環として 子供に化学実験教室を開催

- 夏休みの子供向けイベント「学びのフェス」に3年連続出展
- サステナビリティはコベストロの戦略の基軸
- 今後も次世代の子供に化学の楽しさと社会における役割を伝える活動を継続



コベストロジャパン株式会社（本社：東京都港区 代表取締役社長：米丸公康）は2019年8月21日に、科学技術館（東京都千代田区）で開催された「学びのフェス2019夏」に出展し、化学実験教室「身の回りの化学を見つけよう」を実施しました。当日は、多くの子どもたちが3つの実験を体験、化学の楽しさや化学企業の社会における役割などを伝える良い機会となりました。



「学びのフェス 2019 夏」(主催：毎日新聞社他)は、企業や団体が環境や体験、暮らしなどをテーマに出前授業しているイベントです。当日は、抽選で選ばれた約 1,800 人の親子が 34 の企業や団体のブースを回り、体験授業を受けました。

コベストロによる「身の回りの化学を見つけよう！」の授業では、化学結合の話に始まり、ポリウレタンの断熱性や柔軟性、軽量などの特性を体感できる 3 つの実験を行いました。断熱性を比べる実験では、温めたホットプレートの上にポリウレタンと他の素材を置きそれぞれの上に氷を乗せて、どちらが早く溶けるか観察。子供たちは「ポリウレタンの上の氷はまだ溶けてない！」など好奇心いっぱい瞳を輝かせていました。ポリウレタンは優れた断熱性により、冷蔵庫や冷凍庫、建築物の断熱材として採用されています。

コベストロは 2019 年 1 月に世界各国の企業で構成される新たなネットワーク「Alliance to End Plastic Waste (AEPW)」に参加、プラスチック廃棄物問題への取り組みを強化しています。取り組みの一環として、プラスチック廃棄物処理に関する社会の意識を高め、再利用の重要性を伝える目的で作成した海洋ごみ問題に関する絵本「Bright Minds for a Brighter World (豊かな心で明るくより良い世界)」を「学びのフェス 2019 夏」で多くの子供たちに配布しました。

コベストロは、サステナビリティを戦略の基軸に置き、SDGs を達成するために包括的な取り組みを推進していくとともに、今後も化学の楽しさや化学企業の社会での役割について次世代の子供たちに伝える活動を継続していきます。

<参考>

学びのフェス 2019 夏 公式サイト：<http://mainichimediacafe.jp/manabi-fes/>

コベストロ社について

コベストロ社は 2018 年売上高が 146 億ユーロの世界最大のポリマー製造企業のひとつです。主たる活動分野は、高機能ポリマー材料の生産、および日常生活の多くの分野で使用されている製品の革新的ソリューションの開発です。主要な顧客は、自動車、建築、木材加工や家具、電気・電子、スポーツ・レジャー、コスメティック、ヘルスケア、そして化学の各産業です。コベストロ社は、世界中の 30 拠点に生産施設があり、社員数は 2018 年末で約 16,800 人です。詳しくはこちらをご覧ください。www.covestro.jp, Twitter: <https://twitter.com/covestro>

【この件に関するお問い合わせ先】

コベストロジャパン株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園 1-7-6 クロスプレイス浜松町 7F

広報部 梅澤 Tel:03-6403-9112 / Fax:03-3436-1540



将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)

このニュースリリースには、コベストロ社による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements) が含まれている可能性があります。さまざまな既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因にはコベストロのウェブサイト (www.covestro.com) に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。コベストロは、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負うものではありません。